

2025年2月18日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 橋 義 規
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 国土交通省 熊本河川国道事務所 DX 勉強会の開催 ～DXによる道路・河川行政マネジメント支援の事例紹介～

令和7年2月7日(金)に国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所において、当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:野崎秀則)が受注業務の一環として、同社が手掛ける道路事業及び流域治水事業で活用できるDXの事例紹介をもとに道路・河川行政におけるマネジメント支援の勉強会を開催しました。

道路系および河川系の事務所職員69名(WEB参加含む)が参加され、道路管理・河川管理・防災に関する日々の作業や事業マネジメントの高度化・効率化にむけたDX導入の一助となることを目的に開催しました。

■勉強会内容

勉強会では、既に同社で導入した実績があり、熊本河川国道事務所においても活用が可能な以下のDXの取り組み事例を紹介しました。

【道路事業におけるDXの取り組み】

交通まちづくりから道路事業(計画・調査、設計、施工、維持管理、災害支援)、包括管理までの事業創出から設計・施工・管理まで幅広く推進しているDX事例の内、以下の事例を紹介

ICT施工のDX:設計BIM/CIMを容易に加工し、ICT土工用の3次元モデルを作成できる『土工部ICT施工データ変換システム』通称eMS(earthwork Management System)によるICT施工、施工管理の自動化・オートメーション化

道路管理のDX:現地の端末で入力した情報をクラウド管理し、リアルタイムに関係者で共有できる道路巡回支援システムSOCOCAによって、平常時の道路巡回点検や災害時の被災調査を高度化・効率化

【河川事業におけるDXの取り組み】

流域全体で行う総合的、多層的かつハード・ソフト一体の水災害対策における体系化したDX事例を紹介

河川管理CIM:LPデータ、衛星データ、オルソ画像等の空間情報を用いた平常時の河道管理とAIによる出水時を含む機械・設備等の管理によるエリアマネジメントの高度化・効率化

河川管理施設整備総合CIM:3次元情報を用いた「調査」・「計画」・「設計」・「施工」・「維持管理」・「施設運用」の一元管理によるライフサイクルマネジメントの高度化・効率化

事業監理CIM:3次元空間情報を用いたプラットフォームによる事業監理の高度化・効率化

総合自治体防災CIM(スマート防災):3次元情報を用いた「事前防災」・「応急対応」・「復旧・復興」の一元管理によるエリアマネジメントの高度化・効率化

出張所丸ごとDX(DXマネジメントシステム):DXを活用した河川管理者の平常時及び災害対応の高度化・効率化

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤、丸山、門司



勉強会の開催状況